青森と東京の姉妹校

本年も交歓の修学旅行

友情のねぶた作りを

＝鯵ケ沢一中と第二亀戸中＝

寄贈の苗木も見事に育つ

【青森】青森県西津軽郡鯵ケ沢町立鯵ケ沢一中（青山栄校長）の修学旅行は十月十三日、東京方面に向かって出発したが、翌十四日の朝、二年生三百三十三人は東京・江戸川区立第二亀戸中に大挙して訪問した。それは両校が四十九年から姉妹校であったからだ。

この縁むすびをしたのは第二亀戸中の小野省二教諭が青森県出身で、しかも鯵ケ沢一中の青山校長の教え子であったためで、同教諭の発案で都会と地方で交流が急速にみのり、さる四十九年二月、両校に姉妹校委員会が作られ、互いに文通などが盛んに行われるようになった。

いままで鯵ケ沢一中は三年生が修学旅行をしており、すでに本年五月に同校を訪れている。第二亀戸中からも生徒代表が父兄、教諭らとともに鯵ケ沢一中を訪れ、交流を深めていた。ことしから二年生が修学旅行をするようになった鯵ケ沢一中は、はからずも一年に二回の第二亀戸中訪問となったもの。

第二亀戸中では十四日、全校先徒が校庭に整列して遠来の客を拍手で迎え、「遠く離れていても心のつながりをいっそう深めよう」と交歓。第二亀戸中の生徒代表は「贈られたアスナロとアオモリトドマツはりっぱに育っています」と校庭の一隅を指して報告した。今回はイチイの苗が寄贈され、みんな大喜び。

このあと教室でお互いに学校生活や進学のことなどを語り合い、そしてわざわざ青森から持参した材料を使って本物のねぶた作りをご披露。第二亀戸中の生徒来ちもなれない手つきで製作をはじめ、完成するといっせいに喚声をあげたほど。楽しい両校交歓のひとときであった。

高校連合の輸送②

国鉄首都圏本部のまとめ

53年度

▽福島県東部高校連合　東京＝京都。出発＝九月二十五日＝十月五日、同十九日＝十一月三日、五日＝七日、九日＝十一日（三十四日間）人員＝八千百五十名。

▽千葉県高校連合（Aコース）　東京＝広島。出発＝九月二十四日＝十一月三日、五日＝七日、九日＝十七日（五十四日間）人員＝二万五百名。

▽同（Bコース）　東京＝広島。出発＝九月二十八日＝十一月三日、五日＝七日、九日＝二十四日（五十七日間）人員＝一万一千名。

▽埼玉県高校連合（Bコース）　東京＝広島。出発＝十月二十四日＝十一月三日（十一日間）人員＝五千六十名。

全福協幹事会開く

各団体が活動状況報告

全国教職員福祉団体連絡協議会（全福協＝槙枝元文会長）の幹事会は、十月二十七日午後一時から東京・千代田区の日本教育会館会議室で開催、各団体の活動現況と今後の課題について協議を重ねた。当日の出席者は次の通り。（順不同、敬称略）

槙枝元文（日教組委員長）橋口和子（同生活局長）川崎種三郎（日協連学協部会長）斎藤昭三（学協支所長）石上哲也（全学品部長）大槻昇造（日教済常務理事）永井熙（日教弘会長）伊藤喜蔵（同専務理事）近藤時中（同事務局長）山本種一（全修協理事長）前田寛（同副事務局長・中央研修部長）福島愛次郎（全教互事務局長）

アンケートから

ことしの研修旅行

北海道の初秋

★六日間、好天気に恵まれて楽しい旅ができ喜んでいます。バス・ガイドさんの説明ぶりは満点。（佐賀・福島）

★白老アイスコタンでの尊長の説明はおもしろかった。（三重）

★雪印乳業、ビール工場の見学もほしい。（千葉）

★以前、近畿日本ツーリストのお世話で互助会主催のヨーロッパへ行きました。そのときも行き届いた計画だったので、この研修旅行も同じ会社だからと思い、安心して参加しました。費用も安く内容も充実していて、楽しみながら研修しました。さいはての北海道開拓の苦労と歴史を身をもって学ぶことができました。百年ほどの間に、こんなに発展するものですね。（岡山）

★義経神社、白老の仙台藩屋敷あとの見学は不要。（大分、山形）

写真上は本年度教職員研修旅行写真コンクール、北海道観光連盟賞・一周Aコース「ちょっと待って」溝江年美氏（佐賀）下は九州観光連絡協議会賞・一周コース「開聞岳」若葉永久子さん（三重）

★とても楽しい雰囲気の研修旅行でした。なれない土地でのお互いの友情は忘れられない。（三重）

★地元の人々のなまの声がききたかった。コースでは能取岬よりもほかのところを選んだほうがよい。（神奈川）

★みやげものの効果的購入についてあらかじめ場所など明示してほしい。今回は登別がいちばんよかった。（山口）

★行程中に一回ぐらい懇親会のようなものを持つとよい。要か不要か、ご検討を。（千葉）

★函館の夜景が見たかった。晴天に恵まれ参加者もよい方ばかりで、すばらしい研修旅行ができ感謝してる。できれば買物のアドバイスも。（三重、栃木、茨城）

★開拓地で古老のお話をききたかった。景勝地の見学ばかりでなくこの方面の研究も、考えるべきだろう。（広島）

★アイヌのクマ踊りに参加できてよかった。（山口）

★学校はすでに夏休みが終っているので、その視察も入れたい。（広島）

★酪農や開拓の歴史など、直接ふれることができれば幸いだった。（栃木）

★札幌の植物園などの見学を希望したい。（福島）

★五泊六日の長旅をひとりの病人もなく、無事過ごせたもらいありがとうございました。（東京）

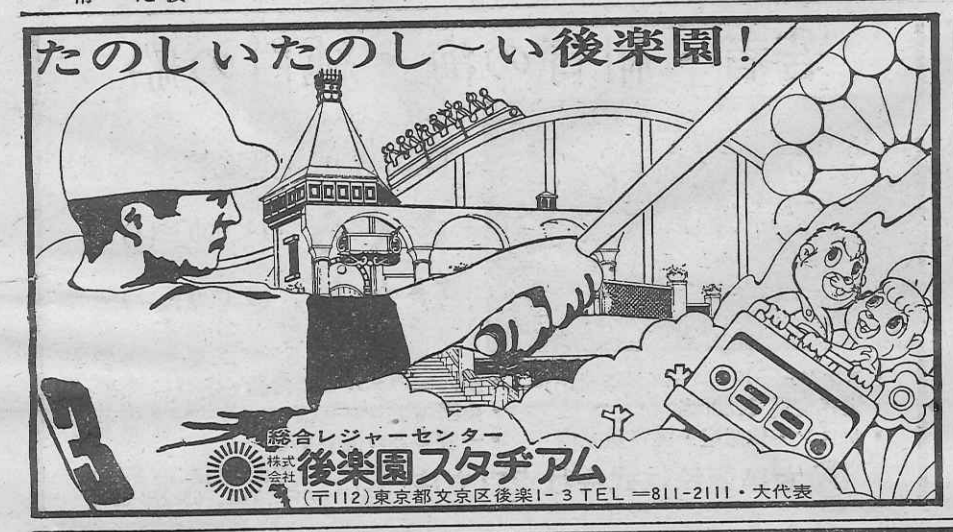
★貝塚の見学だけ案内があったが、資料館などもっと増やして解説をつけてもらいたかった。（佐賀）

★すこし無理もしれないが知床をこのコースに加えてほしい。（山口）

★とてもよい思い出ができました。また参加したい。（栃木）

福島、栃木、茨城）

たのしいたのし～い後楽園！



総合レジャーセンター
株式会社 後楽園スタヂアム
（〒112）東京都文京区後楽1-3 TEL ＝811-2111・大代表

修学旅行のお宿に
全館を開放

■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館　収容600名様
■延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917

財団法人　全国修学旅行研究協会編

心にのこる修学旅行

■財・全修協創立20周年記念出版

児童・生徒の目がとらえた修学旅行と先生の研究論文

本書は全国の小中高校生の作文と、現場先生の調査資料・研究論文を収録し、修学旅行の立案計画から現地での実際体験、事後の反省・評価の実態と改善点をしめた。こどもたちは何を得、何を求めているか。先生たちは現状をどう認識し、将来をどのように模索しているか。これからの新しい修学旅行を開拓しなければならない関係者にとって本書はまさに啓蒙の声である。

作文小学生28編、中学生48編、高校生9編と研究論文16編のほか、文部省初中局教科調査官・堀久氏の「これからの修学旅行」と全国都道府県修学旅行実施基準を掲載。

推せんのことば

■谷合　良治氏（全日中会長・東京都青梅市立一中校長）修学旅行は学生時代の夢であり、華である。このたび「心にのこる修学旅行」の論文・作文集が企画・作成されたことは誠に喜ばしい。人生を通じて最も印象に残る思い出のひとこまとして大切にしてほしい。

■高橋幸三郎氏（全国特別活動研究会長・東京都千代田区立麹町中学校長）修学旅行は、重要な教育的価値をもつ反面、さまざな問題点を抱えている。このたび全修協が「心にのこる修学旅行」を編集されたことは、まことに敬服にたえない。修学旅行が児童生徒のすばらしい一生の思い出となるよう、切に願うものである。

■森　武夫氏（東京都立両国高等学校長）わたくしは、この本を読んで、深い感銘をうけた。子どもの目でとらえた修学旅行のありのままの姿と、これからのありかたを示唆す論文は、教師・児童生徒が修学旅行を考える上で非常に参考になる。広く全国の先生方、児童・生徒の皆さんに一読をすすめる。（全国高校長会長）

A5判272ページ・上製本・本文2段組・写真と図版多数
頒価　1,400円（送料200円）
（2冊以上の送料は約2割増）
限定出版のため書店では扱いません。右記の発行所か全修協へお申込みください。

発行所　株式会社 教材研究所
〒601　京都市南区西九条鳥居口町5
電話075―681―1591（代表）
振替京都2539

長谷詣での旅

古風な商家も並ぶ

長谷寺に詣でるには、フジ・フェリー発着地の松阪から車では約九〇㌔、近鉄を利用すると一時間ちょっとだ。駅から長谷寺まで一㌔ほど歩く。駅前の急な石段をくだっていくと、まもなく初瀬の町に出る。

ここは鎌倉時代から続く古い門前町である。白壁に格子戸といった古風な商家が、現在でもかなり残っている。

参詣客のための旅館、名物の草餅屋、「地酒あります」の張り紙をした酒屋、祭提灯屋、仏壇仏具店、骨董屋、くすきり、そうめんを並べた乾物屋などが初瀬街道の両側に軒を連ね、ひと時代前の町といった趣きがある。こんな街並みの屋根越しに迫る天神山、巻向山、三輪山の峠をあおぐと、万葉集にある「隠口（こもりく）の初瀬小国（はつせおぐに）」の言葉通り、いかにも山にこもった里という感じだ。

初瀬はあまり知られていないがまた温泉の郷でもある。温泉といっても摂氏三〇度ほどのぬるい鉱泉で、湯量もそれほど豊富ではないが、長谷詣でで、くたびれた参拝客には格好のいで湯である。

夜、湯上りにブラリと長谷寺まで散歩してみた。

常夜灯の暗いあかりに、下半分だけがおぼろげに浮んでいる山門をくぐると、回廊の天井に吊されたぼんぼりが、淡い光の行列をなしている。山の傾斜に沿って登っていく光は、やがて暗くはかなくになり、じっと見ていると彼岸にでも誘われている気分になる。聞えるのは初瀬川のせせらぎばかりなんとも幻想的な光景だった。

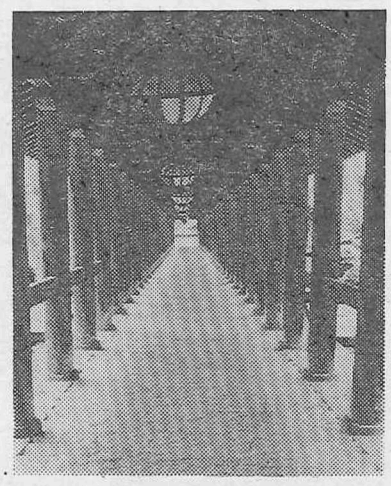
翌朝、こんどは明るいなかを長谷寺へ。昨夜は気づかなかったが街道のあちこちに小さな神社や寺の入口がある。いずれもよく手入れがされていて、いかにも信仰の町らしい。

仁王門をくぐり、長い回廊を登る。そこは春に五十種にもおよぶボタンの花が艶やかに咲き乱れ、観光客が列をつくるところだが、いまはただひっそりと冷たい風が渡っていくだけで、静寂このうえない。

登りきったところが薬師堂跡の休憩所。右手の掃ききよめられた能満律院では絵馬を売っている。これに願いごとを書けば、ご利益があるとかで、天井といわず手すりといわず、おびただしい数の絵馬がかけられている。

左手が本堂。京都の清水寺を思わせる舞台造りの建築。薄暗い堂内には八㍍もある巨大な金色の十一面観音が安置されている。

長谷詣での最後を飾るのが、山腹に迫り出した舞台からの眺め。お参りをすませた人は、いつの時代でも、ここからの景色を見ながら充実感や安堵感を覚えたに違いない。枯葉の樹、五重塔、奥の院初瀬の町のいらか。旅はいいなーと思う瞬間である。



399の石段が続く長谷寺の回廊

■松阪ー（特急・近鉄大阪線）ー名張（普通電車にのりかえ）ー長谷寺下車、徒歩十分。

■拝観時間　午前八時から午後五時。料金二百円。

■フジ・フェリー　運賃東京から松阪まで二等四千二百円。東京予約センター電話〇三ー五六三ー〇五七八。

研修旅行の作品

サファリも楽しい

㊦……村野　充郎

また、宮崎の子どもの国はおとなの庭園といってもよく、早朝のせいであったからか、ソテツの緑がいっそうさわやかだった。

温泉について別府の地獄めぐりや雲仙のそれも、昔からの伝統を伝える温泉地として湯量の豊富さを物語っているし、指宿の野天風呂も思い出につながる。天草、島原は九十九島の風景が中心になり島原城の見学や西海橋の休憩が割愛された。

長崎に入って平和公園、原爆資料館、大浦天主堂、グラバー邸と回わり、中国料理の昼食を食べて早々に離れた。長崎の見学についてはもっと時間をかけるべきだ。郷土史家をわずらわし、切支丹弾圧の模様、幕末期におけるシーボルトの蘭学を中心にした学生の往来、出島の模様、勝海舟の海軍伝習所と話題はきわめて豊富なところだ。

したがってシーボルト邸跡や高杉晋作が宿泊してひそかに策を練った花月楼などで昼食を食べるのも楽しい。また、天主堂を見るなら崇福寺や孔子廟を見ないのは片手落ちといえよう。

さて大人向きから子ども向きになるとアフリカン・サファリは楽しい。虎や獅子の群れ、象の遊ぶようすなど、今までに考えられない驚きだった。これを見ると別府の高崎山やマリン・ランドは見なくもがなである。熊本のひのくにランドの宿泊は時間の余裕あってのことだ。

最後に山については最初の日から阿蘇の内牧泊りということで、草千里における阿蘇山系に対する講義があり、中岳の噴煙が激しくて登山はできなかった。けれど山なみハイウェイやえびの高原、さらには桜島の噴煙などで山の気分は満喫できた。とくに鹿児島に行った日は桜島の噴煙が激しく、鹿児島市内に相当の灰を降らせていた。帰宅後、北海道洞爺湖畔・有珠山の噴火が伝えられているが、これと一連の関係があるのではないか。日本列島に不気味な胎動を感じられる。

こうして九州の旅は変化に富んだコースで、いろいろ旅の要素を含んでいる。なお、私事ながら最後の夜は、知人の出迎えを受け、天神町の賑わいに溶け込みながら中華飯店の楼上でビールのジョッキを挙げて旅の無事と健康を祝して締めくくった。（藤枝市）

伝統的工芸品展望

＜2＞

生活品から美を発見

世界に誇る日本の技術

■村山大島紬

主要産地＝東京都武蔵村山市ほか。

十九世紀の初めに飛白（かすり）模様の織物が試作されたことに始まり、狭山（さやま）丘陵南麓一帯の養蚕業とともに盛況をきわめる。板締めといわれる独特な染加工技術をもって、たてよこの絣糸を巧みに染め分け、これを一本、一本正確に柄合わせして精緻な絣を織りあげる。亀甲などの対称柄にとどまらない村山独自の柄の多様性が特徴。

■塩沢紬

主要産地＝新潟県南魚沼郡塩沢町ほか。

十八世紀の後半、上布の絣や縞の模様付技術が絹織物に応用されて誕生した。真綿を手で引き伸ばしてつむぎ、糸も手でくくって絣模様をつけた糸を一本ずつ模様に合わせて織りあげる。これが蚊絣と呼ばれる独特の細かな模様であり、その典雅さは名高い。そのほか本塩沢、小千谷縮、小千谷紬も指定。

■井波彫刻

主要産地＝富山県東砺波郡井波町ほか。

京都・本願寺の別院がある同地に京都から招いた彫刻師から技術を伝授されたのがはじまり。クスノキ、ケヤキ、キリを原材に、欄間および置物としての天神さま、獅子頭に代表される木彫は、荒彫りから仕上げ彫りまで二百本以上のノミや彫刻刀を使う高度な技術により産業としても全国一。とくに欄間の深彫りは幽幻な画趣をそそる特徴がある。

■九谷焼

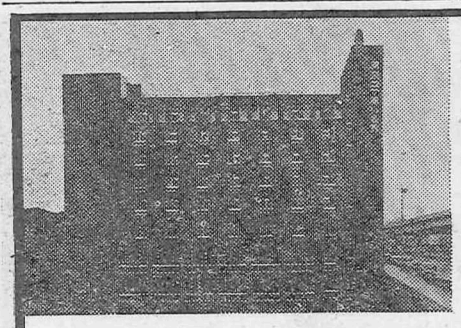
主要産地＝石川県小松市ほか。

十九世紀の中頃には産地形成し豊富な陶土を利用して茶器や酒器など日用陶磁器を生産し現在にいたっている。国内に限らず、広く海外にも供給される。九谷焼の素地はやや青味をおびており、これに合った絵付けをする。呉須（釉薬として用いる藍色の顔料）を用いる下絵付け、九谷五彩を用いる上絵付けに特徴があり、力強い絵画調の磁器である。

■越前和紙

主要産地＝福井県今立郡今立町

発祥は六世紀のはじめとされ、九二七年の延喜式にその生産が記されている。現在、手すき和紙の産地としては全国有数の規模を誇る。コウゾ、ミツマタ、ガンピ、アサの原料にトロロアオイの粘液を加え溜すき、または流しすきで紙をすく。越前奉書として名高く現在では便せん、壁紙、ふすま紙書道用紙、株券などに使用されている。（写真＝上から村山大島紬、塩沢紬、井波彫刻、九谷焼、越前和紙）



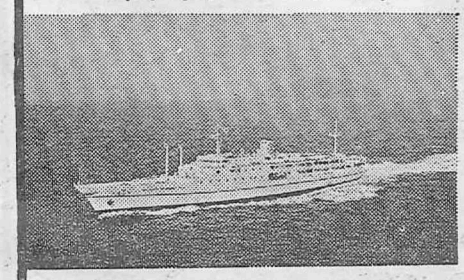
東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）

・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし

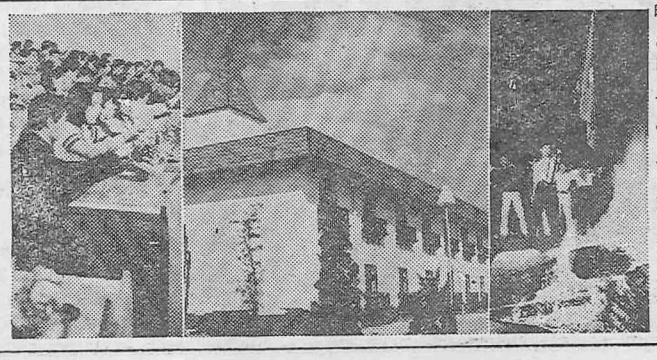
Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る"ゆうえんち"。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

鈴鹿国定公園 国鉄周遊指定地
スズカランド 鈴鹿サーキット　三重県鈴鹿市稲生町 電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホンダランド　本社：東京都中央区八重洲5-5 ☎03(274)5821　大阪営業所：大阪市北区芝田町57-5 ☎06(372)1526